# 施策評価(令和元年度)

## 1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策 2		自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策	29	道路

## 基本方針

だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
羽村駅自由通路の拡幅等整備	計画どおり完了	Α	Α	Α	完了
道路・橋梁の計画的な維持補修	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
セットバックの促進と隅切り整備	計画どおり完了	Α	Α	Α	現状のまま継続
主要幹線道路の整備	計画を見直し完了	Α	Α	В	レベルアップ

## 3 施策評価結果

施策29「道路」では、4事業について評価を実施した。

進捗状況については、「羽村駅自由通路の拡幅等整備」などの3事業については、「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。「主要幹線道路整備」は、引き続き課題の整理などに取り組む必要があるため、「計画を見直し完了」としている。

各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、すべてA(適切なもの)と評価している。

有効性(成果)については、「主要幹線道路の整備」において、社会情勢の変化など、様々な視点から問題 点等の抽出を実施しており、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価し、その他の事業については、す べてA(適切なもの)と評価している。

本施策の基本方針は、「だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組む」ことであり、「羽村駅自由通路の拡幅等整備」では、令和2年3月に工事が完了し、自由通路の拡幅により、駅利用者や東西地区への通行利用者の利便性や安全性の向上および、情報発信やイベント案内等に活用できる空間を整備し、自由通路としての機能の充実を図るとともに、「セットバックの促進と隅切り整備」では、建築基準法に基づくセットバック部分について、土地所有者から協力を得て舗装整備をした。

また、「道路・橋梁の計画的な維持補修」では、「羽村市道路維持保全計画」に基づき、道路補修等工事を実施することで、道路の適正な維持保全に努め、安全で快適な道路環境の整備が図られていることから、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。

1.基本項目				作月	比部署	-	都市建設	と部		建築課
	事業名				台年度	実施期			運営手法	プロジェクト
羽村駅自由通路 00 に重複掲載	め 拡幅等	整備	※施策1			継続	自治事	務(市独自) 非	業務委託(全部)	0
01					年					
02					年					
03					年					
04					年					
05					年					
関連課 土木	課、企画	政策課	ŧ	'			'			
基本目標3 ふれ	あいと活	力あふ 	、れるま <sup>.</sup>	ち施領	医分	29	道路 ————	<b>f</b>	管理No.	1
2.事業の概要										
基本方針ことで、活						うとともに	こ、商店会	:のにぎネ	いの創出を	E支援する 
事 業 駅利用者ならで 内 通路の拡幅等					の利便	性や安全	全性の向	上を図る	るため、羽木	讨駅自由
根拠法令										
条例 要綱等										
3.実施計画										
Plan【計画】	平成30	年度(	現況)	<b>令</b> 和	口元年度	<b>F</b>	3か年 令和2		令和	13年度
	拡幅等整備	歯の推進		<u> </u>	HV- 1 12		15 114-		15 15	
	自由通路抵	太幅工事		同左						
	東口階段コ	上事		同左						
***										
事業内容 事業量等										
	の達成	乃バヨ	    手動する	t-xh1=	<u>ው ነ ታ 2</u>	な答话 【▶	- <b>ト・</b> エノ・	カネ】		
①年間業務時間		カ目安	1)	【事務執	行に要	する人数	女と1人当	たりのか	年間業務時	
職層•職種	種別			度(現況) 算時間	令和   人数	口元年度  概算時		和2年原		和3年度 概算時間
係長職			人	240 H	1人	240	) H /		Н Д	Н
主事・主任職   ②事業費		1	人	240 H	1人	240	) H   /		H 人	Н
事業費の内訳(	単位:千円	9) 平	成30年月	度(現況)	令和	口元年度	:   4	3和2年月	度   令	和3年度
事業費			(	602,219		368,	622		_	_
人件費(係長職 人件費(主任・				1,154 758			154 758		_	
総事業費(合計)	<u> </u>		(	604,131		370,5			_	-
国庫支出金都支出金				138,395					_	
受益者負担額				130,333					_	_
その他特定財 一般会計繰入				250,000		289,	304		_	
起債						,			_	_
一般財源(人作)財源内訳(合計)	‡費含む)	)		215,736 <b>604,131</b>		81, <b>370,</b> 5	230		_	
③コスト計算				JU4, I J I	<u> </u>	3/0,3	70 <del>1</del>		1	
ア市民	55,565	]人にお	おける1	人あたり	りのコス	トは、		6,66	8円	
イ対象者			_	人あたり					円	
ウ 成果(物)		]の E	出来高し		[5	おける1	0	りコストに	ᆀ	円

進行管理No

122

令和元年度

【基本シート】

令和元年度 【事務事業評価	西(事後)】					進行管理I	No	122
Do <b>(実行)</b> 5.実施結果								
□ 計画どおり完了  計画を見 ①指示事項・改善	直し完了(次年	度以降計画	■を見⊡	直す)	遅延	中断		
無有		指表	示事項∙	改善内	容			
②活動実績 関係部署における調整を行	1、 白山海吸出	- 地口 - 田士	ᇫᇴᅼ	21 左岸	ᄩᄠᄼᆇᆉ	7 ( T cft 2 1 4	<b>510</b> 1	口) 大
制成の者にありる調金を打結し、早期完成を目指し、JRいて協議を行い、管理区域を	に対する働きか	けを行うと	ともに					
③投入実績 決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流	田宛「	予質	額(最終)	<b>決算</b> 額	<b>插</b> T	執行率
事業費	368,622		<b>用</b>	<u>」。</u>	368,622		识 3,743	81.0%
年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績			•	•	
	人数 概算時		概算					
係長職 主事·主任職	1人 240 1人 240			40 H 40 H				
④事業量(活動量)	1 . 7/1 270	··· · · 八		11				
実施計画					今年	度実績		
<ul><li>○拡幅等整備の推進</li><li>○自由通路拡幅工事</li><li>○東口階段工事</li></ul>		⇒	〇自日	由通路	備の推進 拡幅工事( エ事(完了			
	切なもの A…ji	適切なもの	ı	B···課	題があり、	今後、改		
項目	->->->		_				::::::::::::::::::::::::::::::::::::::	長評価
妥 必 当 性 性 □ その他 (				需要)があ	58	,	4	Α
IT CONTRACTOR	+ I				トナな田して	)		
対 ○ □ □ 最少の人件費・事業費で 薬 法 □ 業務の進め方や手続きを配 □ その他 (			,	氏间店プ	りを活用してい	), (a)		Α
	たの計画の事業	と は は と と と と と と と と と と と と と と と と と		=Lascol	上の事業量を	<u>/</u>		
有	事業の効果	果が表れている		Ⅱ四以_	Lの争未里で	達成した		Α
性						<u>[</u>		
自由通路の拡幅により、駅では、情報発信やイベント案内で創出を図った。	利用者や東西地	也区への通						
Action【改善】 8.今後の方向性 □ 現状のまま継続 □ レベル 【改善点】	レアップ 🔲 縮	训	実施主	上体の.	見直し	休止・廃	ıĿ [	<b>□</b> 完了
【今後の取組方針】								

2.事業の概要

基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち

施策の 基本方針	だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。
内 的な糸 容	市道路維持保全計画」および「羽村市橋梁長寿命化修繕計画」に沿った、道路・橋梁の計画 推持補修を行います。
根拠法令	
条例	
要綱等	

施策区分

29

道路

管理No.

2

3 実施計画

3.美施計画			o to 누린 포						
Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画							
	一,000十尺(50元)	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
	市道補修等工事 (市道第101、3028、4021号 線 L=504m)	同左 (市道第101、202、1039、 2090、2122号線 L=1,268m)	同左 (道路舗装修繕実施プログラムに基づく優先路線の整備)						
	道路の舗装構造評価 (FWD)調査 L=360m	同左 L=2,100m	同左 L=2,000m	同左 L=2,000m					
事業内容		歩道改修工事(市道第202号 線 L=370m)							
事業量等		道路ストック点検委託							
		動物公園前歩道橋撤去設計 委託	動物公園前歩道橋撤去及 び交差点改良工事						

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層∙職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
中以   一 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	75 H	1人	75 H	1人	75 H	1人	75 H
主事·主任職	3 人	300 H	3 人	600 H	3 人	600 H	3 人	300 H

ク重業費

<b>少</b> 于木貝				
事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	19,592	121,371	105,837	77,652
人件費(係長職)	361	361	361	361
人件費(主任・主事職)	2,840	5,679	5,679	2,840
総事業費(合計)	22,793	127,411	111,877	80,853
国庫支出金		1,000		
都支出金	4,460	16,093	18,489	16,717
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金	3,900	16,580		
起債				
一般財源(人件費含む)	14,433	93,738	93,388	64,136
財源内訳(合計)	22,793	127,411	111,877	80,853

(3)⊐	フ	L ≣⊣	一笛
$\odot$	$\sim$	T	牙

ア市民		人における1	人あたりの=	コストは、「	2,293	l <sub>m</sub>	
イ対象者	·		人あたりの=			円	
ウ 成果(物)		の 出来高		における1	のコストは		円

令和元年度 【事務事業評価(事後)】	進行管理No	123
Do【実行】		
<u>_5.</u> 実施結果  _ <u></u>		
<mark>レ</mark> 計画どおり完了   計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)   遅延	中断	
無有指示事項・改善内容		
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
②活動実績		1-2-1
「羽村市道路維持保全計画」に基づき、道路の維持保全を実施しており、現場の下東発達を対象である。	リ川軍寺を早期	に行い、
早期の工事発注及び完了を目指して取り組み、当初計画通り完了した。		
③投入実績		
決算の内訳(単位:千円)   予算額(当初)   補正・流用額   予算額(最終)	決算額	執行率
事業費 121,371 3,903 125,274	113,777	90.8%
(大門業務時間(人供表の日本) 当初計画 実績		
年間業務時間(人件費の目安)   <u>ヨ粉町</u>   <u>天順</u>   人数  概算時間   人数   概算時間		
係長職		
主事·主任職 3 人 1,800 H 1 人 600 H		
④事業量(活動量)		
	度実績	
〇市道補修等工事 5路線 L=1,268m 〇市道補修等工事 6	路線 L=1,562m	1
OFWD調查委託 12路線 L=2,100m OFWD調查委託 12路	線 L=2,205m	
○歩道改修工事 1路線 L=370m	線 L=227m	
○道路ストック点検委託       ○道路ストック点検委	迁	
○動物公園前歩道橋撤去設計委託     ○動物公園前歩道橋打	敞去設計委託	
6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、項目  妥必 当要性性 一つの社会情勢に見合う事業である 「利用者・対象者のニーズ(需要)がある 一つの社会情勢に見合う事業である 「利用者・対象者のニーズ(需要)がある 一つの他 ( 対 手 本法 「一一 「一 「	課 ) る ) 達成した	A A A
Action(改善) 8.今後の方向性  □ 現状のまま継続 □ レベルアップ □ 縮小 □ 実施主体の見直し □ 【改善点】  【今後の取組方針】  安全で快適な道路環境を維持するため、橋梁長寿命化修繕計画、道路維持修繕実施プログラムに基づき、道路舗装の点検や調査を継続して実施し、道路る。その結果を基に各年度の予算への反映及び毎年度計画をローリングする対応を図る。	保全計画及び設格状況などを随い	道路舗装時把握す

令和元年度     【基本シート】       1.基本項目     作成部署     都市建設 部       事業名     開始年度     実施期間     事業種別       00 セットバックの促進と隅切り整備     年       01 道路拡幅(セットバック)舗装委託料     不明     年     継続     自治事務(市独自)	進行管理No	<u>12</u> 土木談
事業名 開始年度 実施期間 事業種別 00 セットバックの促進と隅切り整備 年	運営手法	エル説
00 セットバックの促進と隅切り整備 年	~ 1 , / ~	プロジェク
01 道路拡幅(セットバック)舗装委託料 不明 年 継続 自治事務(市独自)		
	業務委託(一部	)
市道第7078号線測量及び設計等委託 <sub>年</sub>		
料		
04 市道第7080号線道路拡幅用地補償物 件調査委託料		
関連課		
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち 施策区分 29 道路	管理No.	4
2.事業の概要	<b>'</b>	
施策の 基本方針 下れもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管事 事業 狭あい道路のセットバックを促進するとともに、交差点の隅切り整備を進め、内を図ります。		
根拠法令		
条例		
要綱等		
3.実施計画 3か年計画 3か年計画		
Plan(計画) 平成30年度(現況) 令和元年度 令和2年度	令和	口3年度
事業内容事業量等		
4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)		+ 88 1
①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの 平成30年度(現況) 令和元年度 令和2年		<sup>时间】</sup> ·和3年度
	時間 人数	
係長職     1 人     10 H     1 人     10 H     1 人       主事・主任職     1 人     30 H     1 人     30 H     1 人	10 H 1 人	10 H
主事・主任職       1 人      30 H  1 人      30 H  1 人        ②事業費	30 H 1 人	30 H
事業費の内訳(単位:千円)   平成30年度(現況)   令和元年度   令和2年	度 令	·和3年度
, , ,	2,200	2,20
人件費(係長職)	49 95	9
総事業費(合計) 1,662 2,344	2,344	2,344
国庫支出金		
都支出金		
その他特定財源		
一般会計繰入金 1,500 1,900		
起債    一般財源(人件費含む)   162 444	2,344	2,34
	2,344	2,344
③コスト計算		

 ア市民
 55,565
 人における1人あたりのコストは、
 42 円

 イ対象者
 人における1人あたりのコストは、
 円

 ウ成果(物)
 の 出来高
 における1
 のコストは
 円

 ※対象者:

令和元年度 【事務事業評価	i(事後)】			進行管理No	124			
Do【実行】								
5.実施結果								
計画どおり完了  計画を見	古厂宝フ(カ年度)10多計	面も目で	ちょく   一次な	中断				
	但し元 」(次千及以降司	四で兄匠	■9/ □  建煌					
①指示事項・改善	15	= + -+						
無   有	1	示爭項∙	改善内容					
②活動実績				_				
「狭あい道路等整備方針」に	基づき、セットバック部分	}(108m	1)の舗装を行っ	た。				
③投入実績 (3) (3) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	7 65 dT (14 day) 1 dd 3	- m at 1	7 Mr. 47 ( F) //6\	1 14 kk 47	T +L /= +			
決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初) 補正·济	ì用額	予算額(最終)		執行率			
事業費	2,200	_	2,20	00 1,614	73.4%			
	当初計画	実績						
年間業務時間(人件費の目安)	人数 概算時間 人数	概算	<del>连</del> 問					
係長職			10 H					
主事・主任職								
	1人 30 H 1 J		30 H					
④事業量(活動量)				F & C /=				
実施計画			今:	年度実績				
○セットバック部分の舗装 18	om² 1 =200 == ⇒	O+1,11	トバック却人の	舗装 108㎡ Li	-01			
し ピッドハック 即力 の 舗表 10	0111 L=200111	069	いいうつうかりり	m衣 IUOIII L	-01111			
Check【評価】								
	<b>ワなもの A…適切なもの</b>	٠ ،	ロ…钾質がない	、今後、改善が	必要なもの			
項目	na coo A Ma ana co	<u> </u>	<b>一 味風かめ</b> う		長評価			
				P				
妥 必 <mark>□上位施策(基本目標・施策</mark>	を達成する為に必要な事業で	ある			A			
当 要 ✓ <mark>今の社会情勢に見合う事業</mark> 性	である 利用者・対象者の	ワニーズ(需	需要)がある		$\Delta$			
ー 性 性					/ \			
住				/				
対 □ □ □ □ 最少の人件費・事業費で事	務が執行されている	E	民間活力を活用して	こいる	_			
率 注 □業務の進め方や手続きを簡	略化・簡素化している				Δ			
性 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C				)				
有 ○ 計画の事業量に達しなかった	計画の事業量に達した		計画以上の事業量	を達成した	_			
1 成	=		1100-117/12	حد/۸۵۰۲	lack			
対 果								
性 一 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった								
7.「施策の基本方針」に対する	太事業の評価			<u> </u>				
建築基準法に基づくセットバ		カた得え	スーレができ な	F <b>E</b> 205 m ( 南 籍 2	62m²)[-			
いて狭あい道路の解消が図れ		77 区 14 亿		上文と35川(四個2	.02111/12 2			
いて決めい。追応の解消が固れ	7/_0							
Action【改善】								
□ 現状のまま継続 □ レベルアップ □ 縮小 □ 実施主体の見直し □ 休止・廃止 □ 完了								
【今後の取組方針】								
引き続き広報及び市公式サ	イトにて、建築基準法に	基づくセ	ットバック等に	ついて周知し協	力を得るこ			
とにより、狭あい道路のセット								
の解消を図り、市民生活の利								
THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH	~							

	令和元		Ţ.	基本シ	<b>/一卜】</b>						進行管理No	125
<u>1.基</u>	本項目	-	<del>- 11/ -</del>				<u> </u>			建設部	W 7 7 1	土木課
	十 曲 龄:		事業名 の整備 ※	/佐华	10 レ番 始		台年度_	実施	期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	土安轩: 引載	<b>脉</b> 坦岭(	の登1浦 %	心心中	りと里物	【│不明	年	組	<b>Ŀ続</b>	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	$\bigcirc$
ĺ							年					
l ⊢							<u>.</u>					
0	2						年					
o	3						年					
	4						<b>4</b> -					
ľ	4						年					
0	5						年					
	連課					•		•				
基本	5月標3	ふれる	あいと活	力あぶ	れるま	ち施設	策区分	29		 道路	管理No.	6
	業の概				1-00							_
			白州 5年	<b>上</b>	・ムフナリ	<b>カル</b> 田 叫	士垣ナダ	= 2   .	+1- =		もいの創出す	
			目性や胚					772E	むに、階	店会のにぎ	わいの創出を	と文抜りる
事	7321 (		X(1007-5)	/二四本		C E 7 5	7 0					
業「	<b></b> 方道第1	01号約	禄•102 <del>号</del> 終	線(市	役所通	り)につい	いては、	市のス	メインス	ストリートにふ	ふさわしい道	[路環境と
内な	よるよう	再整備	iを計画的	りに進	めてい	きます。						
容根拠	法令											
条例												
要綱	等											
3.実	[施計画	Ī										
	Plan【計	画)	平成30	年度(	現況)		<i>-</i> -			か年計画	A 7.	
			市道第101			<u> </u>	和元年	-		う和2年度 関との協議・調素		]3年度 
			匝道男101			问左			) (月) (月)	) ★ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	全 夫他設計が	び測重
	事業内	容										
	事業量											
		-										
4 +7	. 7 <del>1</del> 54#	6/ - 田 /	○ 法仕	TLッパニ	C = 1 - 7	'+ WI-	机工士	フ次店	T last	ㅜ / 뉴스 <b>T</b> \		
			の達成、							モノ・カネ】) I 人当たりの	午問業 終日	生間】
						<u>まずがか</u> 度(現況)		和元年		<b>令和2年</b>		和3年度
	職	層∙職科	重別			算時間	人数		時間	人数 概算		概算時間
係長	睫				<del>人</del>	10 H		1,7031	10 H		10 H 1 人	10 H
	主任.	職			人	Н			Н	人	Н Д	Н
	業費			•	•		•	•		•	•	
		引訳()	単位:千円	9)平	成30年	度(現況)	令	和元年	度	令和2年	度令	和3年度
	<b>事業費</b>	r = ~									4.5	8,100
	人件費(					49			49		49	49
	【件費(		上争職)			40			40		40	0.140
	業費(1 国庫支出			+		49	1		49		49	8,149
	11年又に 18支出会											
	B 益者負											
	その他特		原									
-	-般会訓											
t	□債											
<u> </u> -			-費含む)			49			49		49	8,149
	内訳(1					49			49		49	8,149
_	スト計算	异	FF FAF	1	トバレフィ	( <del>       </del>	U &	114	i <del></del>		<b>-</b>	
アト			55,565	4		人あた			<u> </u>		1 円	
	対象者					人あた			<sub>→</sub> L		円 円	<del></del>
ウ原	戈果(物)	)		၈ ¦	出来高		(:	こおける	ବୀ	のコスト	الةال	円

※ 対象者:

令和元年度 【事務事業評価(事後)】	進行管理No	125					
Do(実行) 5.実施結果							
計画どおり完了 <b>レ</b> 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) <b>遅延</b> ①指示事項・改善	中断						
無 有 指示事項・改善 指示事項・改善内容							
市道第101・102号線の再整備については、今までも様々な視点から検討を行っているが整備に至っていない。このことから社会情勢の変化など、様々な視点から問題点等の抽出を実施している。							
③投入実績         決算の内訳(単位:千円)       予算額(当初) 補正・流用額 予算額(最終)         事業費       -         -       -	決算額	執行率					
年間業務時間(人件費の目安)     三切目回 人数     実積 概算時間 人数       係長職     1 人     10 H     1 人     10 H       主事・主任職     人     H     人     H							
	度実績						
<ul><li>○市道第101・102号線(市役所通り)再整備 計画の検討</li><li>○市道第101・102号線 画の検討</li></ul>	泉(市役所通り)	再整備計					
Check【評価】		_					
6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、		必要なもの 長評価					
妥 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	<u> </u>	_					
当 要		A					
対  □  □  □  □  □  □  □  □  □  □  □  □  □	/ <u></u>						
手 本 法		A					
有							
が 果 □ 事業の目標が達成された □ 事業の効果が表れている □ 事業の効果が表れている □ 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった		В					
性							
市道第101·102号線については、道路維持保全計画を踏まえ道路舗装の修繕を実施した。再整備に向けた検討については、引き続き、課題整理に取り組みメインストリートにふさわしい道路環境となるよう検討を続ける。							
^ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
Action(改善) 8.今後の方向性 - 現状のまま継続 レレベルアップ に縮小 実施主体の見直し に		完了					
【改善点】	- 古小心声性	· ** · ** ·					
市道第101·102号線については、道路維持保全計画を踏まえ、道路の改修工事の必要性や道路幅員構成等を検討し整備促進を図っていく。また、道路整備に合わせ景観及び防災面から無電柱化の実現に向け東京都と調整を図る。							
【今後の取組方針】							
市道第101・102号線(市役所通り)については、神明台二丁目地区の整備の全計画を踏まえ、市のメインストリートにふさわしい道路環境となるよう再整備							